

9月全学連大会へ!

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

2016年8月5日
No.394

Tel 03-3651-4861
mail_cn001@zengakuren.jp
http://www.zengakuren.jp/

京大処分撤回の 大署名運動を!

10・3開講日キャンパス集会(仮)へ!

8・6ヒロシマ大行動に集まれたすべてのみなさん!
京都大学では、期末試験最終日の8月4日まで、学内で激しい攻防が続いています。

「無期停学」処分当該の4学生と仲間の学生は、処分決定にまったくひるむことなく抗議の声をあげ、キャンパスの学生の前に登場し続けています。

京大職員は、経験したこともない学生弾圧「業務」に必死になって、どんどん反動化しています。多い時には30名がかりで私たちのビラまきやアジ演説を妨害し、「処分に従え!」「証拠記録をとる!」などとわめきながら、カメラ2台を持ち出して動画まで無断で撮影しています。

しかし、こちらが徹底追及すると言葉に窮し、「上から命令されているから仕方ない…」「サラリーマンだから仕方ない…」などと泣き言を言う始末です。「サラリーマンをなめるな!」ということです。

そんな妨害をはねのけて、被処分者を先頭にしてキャン

パス内にテントを張って座り込み、処分撤回署名を集めています。そして、当局ともみ合っているところに、試験が終わって教室から出てきた学生が集まって、注目し、活発な議論が始まっています。

すでに、処分撤回署名数は400筆を超え、応援メッセージやカンパも全国から続々と寄せられています。本当に



演説する作部羊平委員長を大声で妨害する藤田尚弥学生課長

全学連第77回定期全国大会

- ◆京都大学4学生への「無期停学」処分粉碎!
- ◆改憲・朝鮮侵略戦争阻止の大学ストライキを!

9月1日(木)~2日(金) 東京・浜町区民館にて
両日とも午前9時半開始

参加費用=1000円(会場代、資料代など) ※宿泊費は除く



ありがとうございます！ 京大生と全国学生の力で、処分を必ず撤回させます！

京大当局職員は、「処分は学生個人に対するもので、同学会とは無関係だ」と言っています。しかし、7月19日に開催された同学会代議員会の直前、大学正門には30名の職員が待機し、集合場所である「クスノキ前」を監視していました。さらに、被処分者が集合場所に来ないと分かると焦り出し、処分を受けていない学生や、オブザーバーとして参加していた齊藤いくま・全学連委員長や武田雄飛丸・法政大文化連盟委員長に付きまといました。職員はその場で徹底的に弾劾され、同学会代議員会は弾圧をうち破って大結集で貫徹されました！

今回の処分は、学生運動に対するものとしては、京都大学では58年ぶりと言われています。1958年に同学会再建準備会が呼びかけた代議員選挙に対し、京大当局は『告示第7号』を出して選挙を禁止します。しかし、実力強行された選挙では3600票が投じられます。ただちに京大当局は『告示第8号-第9号』を出し、トップ当選した北小路敏氏を含む9人の学生を処分し、同学会解散を宣言します。これに対する京大生の怒りが爆発し、処分は撤回され、59年6月には4900人の投票と4000票超の賛成をもって同学会再建宣言が発せられ、京大学生運動は60年安保闘争の渦の中に突入していきます。被処分者として同学会再建準備会議長の重責を担った北小路氏は、60年安保国会突入闘争時の全学連委員長代行として全国学生運動の先頭に立って闘いました。

また、70年安保・沖縄闘争の際には、何度もバリケードが組まれストライキが打ち抜かれたにも関わらず、それへの処分はありませんでした。80年代の激しい寮闘争、2006年からの法大闘争(での不当逮

捕)でも京大生への処分はありませんでした。逆に言えば、安倍や大学当局が「そう遠くないうちに安保闘争が再来するのではないか…」「法大闘争が京大で再現されるのではないか…」と、戦々恐々としているということです。

参院選後の世論調査でも、改憲反対派が賛成を上回り、安倍政権と戦争への怒りが収まる気配はありません。今回の京大処分には、改憲と戦争へ向けて、かつてまったく手が付けられなかった京大-全国の学生運動の爆発を今度こそ抑え込みたいという、追い詰められた政権と大学当局の意図が透けて見えます。

さらに言えば、この処分は安倍政権が数年かけて準備してきたものでもあります。2014年の学校教育法改定により、学生の処分に関しても、教授会の議論や採決を経る必要がなくなりました。そのため、今回の処分も総長や周辺理事などが恣意的に組織した「懲戒委員会」なるものによって、独裁的に処分が下されているのです。まさに、京大当局は安倍政権と一緒に、反戦運動を闘う学生を「処分できる大学」になり果てたということです。

しかし、昨年10月の反戦バリケードストライキに対する今年3月の刑事告訴は完全粉碎されました(6学生の不起訴釈放)。警察権力に頼れなくなった京大総長・山極寿一が自ら処分を下したことに

対して、「自分の大学がそんなことでもいいのか！」と、京大生や職員、教授、非常勤講師まで署名に賛同し、立ち上がり始めています。これは京大生や教職員自身の問題なのです。

私たちは8~9月の夏休み返上で、10月開講へ処分撤回闘争を爆発させます。全国の仲間みなさん！ 同学会中執の呼び掛ける『10・3処分撤回！ 京大全国集会(仮)』にぜひ結集してください！ 戦争・改憲阻止の第二波バリケードの成功に向けてともに闘いましょう!!!!



今こそストライキと国際連帯で改憲阻止の大運動を~国益と排外に憲法は屈するのか~

改憲阻止 8・14大集会

8月14日(日) 正午開場 午後1時開会

ニッショーホール(港区虎ノ門2-9-16 日本消防会館2F)

- 記念講演 鈴木達夫弁護士 「改憲と戦争に絶対反対」
- 特別報告 民主労総ソウル地域本部
- 呼びかけ人から 西川重則さん(平和遺族会全国連絡会代表)
- コント 松元ヒロ 「われら99% > 国会3分の2」

共催 許すな改憲! 大行動/8・15労働者・市民のつどい実行委員会

